H5 11/10 来去

日本ボーイスカウト京都連盟

京都第38団育成会

年次総会・資料

1993

平成 5年11月14日(日)

18:30 開会

於 団本部 ハウス長 休 広 間

総会終了後　団懇親会 於「ひょうたん」上立売通寺町西入

年次総会次第 及び 議　案

開 会 式

1，開式の言葉
2，国旗儀礼
3，礼拝
4，物故者黙祷
5，閉式の言葉

会　　議

1，団委員長挨拶
2，議長・副議長の選出
3，議長挨拶
4，記録係の任命

議　　案

①平成５年度各隊活動、団行事報告。
②平成５年度収支決算報告。
③平成５年度各隊指導者並びに団委員の解任。
④平成５年度顧問、育成会長、会計監査の選出。名誉会員の推薦。
⑤平成６年度団委員並びに役務分担承認、並びに委嘱状の伝達。
⑥平成６年度各隊指導者選任報告、並びに委嘱状の伝達。
⑦平成６年度活動計画について。
⑧平成６年度収支予算について。
⑨その他。

閉 会 式

1，開式の言葉
2，顧問の話
3，礼拝
4，国旗儀礼
6，閉式の言葉

ご挨拶

三指　平素は団育成のため、団委員長のもと皆様方のご活動で３８団が益々発展していることを深く感謝申し上げます。

小川先生が突然おられなくなった。大変なことだ！今後どうしよう？こう云う思いは私だけでは無かったと思います。しかし先生のスカウトに対する情熱は、多くのスカウトに立派に受け継がれていると確信致しております。ここでこの機会に小川先生のご生前のお言葉を一、二、想い出して今後の道しるべにと思う次第です。

◇「すでに道あり」（４団３０周年の記念盾）その事はスカウティングにあっては、道は事実として存在し、しかも実践的規範としてあり、道は歩むこと於いて道であり、誰かが歩むことに於いて道がつくられて行く。歩まなくなれば道は自らいつしか消滅していくものなのでしょう。スカウティングでいう道を歩む、道に火を焚くと申しますのも、こうした願いを込めての事でしょう。・・・後略

またこの様にもおっしゃっておられます。

◇　私達大人が子供に残すことの出来るものは、一生懸命に事にあたったその後姿だけの様に思います。子供たちは、思いがけないほど鋭く肌で感じとり受けとめていくようです。・・・中略

将来のために如何なる準備をなすべきか、今の日々を如何に生きるか特に、この後者の問題には、無関心な親が多くなっています。その時々を如何に生きるか、スカウト訓育にあっては、大切なことでございます。

・・・後略

先生のご冥福を心よりお祈り申し上げ、今後、より満たされたスカウティングが出来ますよう、皆様のご理解とご活動をお願い致しましてご挨拶とさせて戴きます。

平成５年１１月１４日
育成会長　西村　泰一

御　　挨　　拶

灯火親しむ候　育成会，団委員会，各隊指導者の皆様におかれましては，益々　御健勝の事と心よりお喜び申し上げます。
日頃　団運営に対して絶大なるご尽力を賜り誠にありがとうございます。
今年は，例年になく天候の不順もさることながら，我３８団が発団３５周年を迎える矢先に，日本ボーイスカウトの先人達であり、団創始者である小川玄諦先生を平成５年３月１１日に失うこととなりました。青少年の育成に（ボーイスカウト活動通して）全力を注がれ、あえて奮死されたように思えてなりません。
我々スカウト関係者にとっては大きな痛手と悲しみで一杯です。
我々は先生に残していただいた“道”を邁進し続けることが、先生えの報恩ではないかと確信しています。どうか　団関係者の皆々様には、今までより尚一層のスカウト活動（青少年の育成）に御理解と絶大い成る御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。
平成５年度の団活動を（アクシデントも有りましたが）つつがなく終了をいたしましたことと、新年度におきましても７名のカブスカウトと指導者３名が誕生致しました。指導者、育成会各位の御尽力のお陰と厚く感謝申し上げます。
なお　今年度をもちまして　委員長の任期切れとなりました。
この２年間（計８年間）皆々様の御協力によりまして、無事に役務を全うさせていただき心より感謝申し上げます。
今後とも団運営に御協力頂きますよう心よりお願い致します。
小川玄諦先生の御冥福をお祈り申し上げます。
平成５年１１月１４日

団委員長　　下　坂　紀　一

一年をふり返って

カブスカウト隊々長
入矢徹雄

今年もスカウト達と共によく遊んだ そして彼等によく遊んでもらった一年でした。

スカウト達の限りないパワーを全身で受けとめた時 どの様にして返してやるのがベストなのか、自分が満足する事よりもスカウト達が充実した時間をすごす事が出来るように、小川先生が常々おっしゃっていた理想と、現実に大きなギャップを感じながらも 自分なりに精いっぱいの奉仕が出来たのではないかと思っています。 たしかに以前のスカウト活動と現実とは、スカウト達のニーズや それを取りまく環境 そして親の意識にさえ大きな違いがあります しかしながら どこかにその接点が必ず見出せるはずだと思います。 親も子も同じ位置と高さで楽しみ合え スカウトと共に同じグラウンドで思いきり動きまわり そして真剣に遊ぶ事が出来る… そこが今世間に人気のあるスポーツ教室とは本質的に違うところだと思います。この辺のところを 御父兄が十分に理解され 今後もスカウト達の為 あたたかい心で 御援助下さるよう切にお願いする次第です。 最後にこの一年間 御奉仕いただいた育成会各位、各隊リーダーに心より感謝いたしますとともに 当団のますますの発展をお祈りいたします。

弥栄

1993年10月10日

日本ボーイスカウト京都第38団カブスカウト隊

平成6年度 年間活動プログラム

月	テーマ	内容	目標	実施場所	さわがに担当	優秀綬担当
11	団行事 35周年記念	ウォークラリー		長休寺周辺	CM	－
12	空とぶクジラ	紙ヒコーキ	工作	出雲路橋西詰	岡本ACM	山本ACM
1	さがせ 北山雪女	雪中ハイク	いつも元気	二の瀬ユリ～雲ヶ畑	CM	山下ACM
2	クラフト・マスター	チーフリング作り	発表	ハウス長休寺	山本ACM	南ACM
3	サンパチ お組じまん	野外料理	準備	北白川方面	山下ACM	西脇JACM
4	がんばろーど	サイクリング	体力作り	鴨川上流方面	南ACM	岡本ACM
5	カブラリーのテーマ	カブラリー	友情		西脇JACM	CM
6	キャンプのテーマ	一泊キャンプ	基本	百井青少年村	全員	全員
7	キャンプのテーマ	夏季キャンプ	協力	田村神社	全員	全員
8	遊泳白書	お別れ隊集会	記録	かんぽーる京都	岡本ACM	山本ACM
9	銀河探検隊	夜間隊集会	観察	ハウス長休寺	CM	山下ACM
10	未来の森へ	植樹	自然愛護	花背山の家	山本ACM	南ACM
11	レスキュー'94	消防署見学	安全	北消防署	山下ACM	CM

集会・会議予定

月例隊集会 母の会 月例リーダー会議	毎月第一日曜（ただし'93・12、'94・1は変更あり、カブラリー、夏季キャンプは未定） 隊集会直後の木曜日 19:30～ 毎月第二日曜 19:30～			
デンコーチ会議	組長・組次長会議	本部会議	テーマ委員会	父の会

一年間を振り返って

一年間を振り返ってと言うよりも ボーイ隊の隊長としての三年間を振り返って まず三年間やってきた中で一番最初の年が隊長として活動した事が、たくさんあったと思います。年々年を重ねるごとに さぼったり手を抜いたりする事が多かったです。この三年間、いろいろな出来事がありました。リーダーが1人という事もありたくさんのOBの方々に集って頂いた事、私自身交通事故による長期の入院、小川先生が亡くなられた事、また夏キャンプにおいての非常事態など思い出せば、つらく悲しい事が多い様に思います。この他にも楽しい思い出が浮かんでこないというのも、私自身スカウト活動、リーダー活動に、積極的に取り組んでいない証拠だと思います。今後B.S隊々長の任務を終え、R.S隊最後の一年、35周年、38周年に向け R.S隊活動に励んでいきたいと思います。

下坂直司

平成六年度　ボーイ隊年間プログラム

月	訓練内容	テーマ	行事
１１	基本	各馬ゲートイン	報恩講
１２	団行事	『ジュラシック・パーク』（仮）	ちかいの式 団行事
１	結索・通信	愛をつなぐ 第３８電電	新年の集い
２	雪中ハイク 救急・簡易料理	雪はよいよい 帰りが怖い	
３	春季キャンプ	『　未定　』	
４	サイクリング 観察・計測	Charinko FighterⅡ′＋	BSラリー 11NJ結隊式
５	野外料理	バイ菌喰 PART II	
６	救急・通信・結索	病んだ心に Ｑ２ダイアル	
７	備品整理・竹工作	竹取物語	
８	夏季キャンプ	『　未定　』	11NJ
９	通信・計測	あなた誰と 話してますか	
１０	体力作り	マッスルマン養成教室	上進式

※隊集会は、原則として月の最終日曜に行う。
※行事の予定は１１月１日現在のもの。

シニアー隊長この１年（1993）　ＳＳＬ末吉央伯

久しぶりの隊長をさせて頂くことになって、はや２年目を迎えた。ＢＳ隊長代理を勤める羽目になった昨年も多忙を極めたが、それ以上に1993年は大変な年になった。

まず、38団生みの親、小川玄諦先生が他界されたことは大きなショックを受けた。悲しみもそこそこに、ＢＳ関係者の名簿作成に追われた。それでも「想い出集」を出来るだけ早い時期に出そうと編集に精を出した。予定より１月遅れたが、多くの執筆者のご協力が得られ、なんとか中身のあるものが出来き、先生への感謝の念のひとつとなったかなと思っている。

編集が終わると同時に、ＵＳ研修ツアーに７人のスカウトと参加、大きなルックワイドが出来て有難い。帰国した８月の日本は雨続きで、ＳＳの奉仕したＢＳキャンプは１日残して撤収という、大変な経験をスカウトがしてくれたと内心喜んでいる。

広観日記は小川玄諦先生の「想い出集」の編集とＵＳ研修ツアーで発行が５ヵ月中断、15号が10月３日にやっと出せたという状況に加え、ＵＳ研修ツアーの記録ビデオ作成に追われたという近況は、ゆとりのなさで誉められたものではない。

それでも今年度の前半は、地区ＳＳ隊のブラックスピア隊の活動が出来て、お陰で、多くの技能章が取得でき、３月末に西脇淳人君の隼章に続いて、７月に出口浩平君、八木立夫君、伊藤良崇君の３名が隼章を取得したという進級の年でもあった。

第３土曜の定例の隊集会は、一応定着したように思うが、忘れによる欠席が多いのは残念だ。特に高１のＳＳの活動が不活発となってしまったことが気がかりだ。

９月の北山ＳＳラリーのカヌー大会には３名のグリーンシニアが参加してくれて、次年度に期待が出来る様子だ。10月の隊集会で、昨年より始まった川下り「カワセミハイク」を小雨の中ながら実施し、ＳＳ最後の今井清次君の参加は、彼の数少ないＳＳの体験として印象に残ったものと思っている。

自発度については、昨年同様今だ高くなってはいないように思う。昨年も書いたが、これはやったことがなく知らない内容だからだとも考えられるが、それでは自発度に発展性がない。未知のものはこれから先いくらでも出て来るから、今後は何でもやってみようと姿勢が、自発度を高めるものと期待したい。ルックワイドはここから始まる。特に高校１年生にそれを求めたい。

「カワセミハイク」は頭を柔軟にするセンスを養うと考えている

“一年をふり返って”

毎年、ローバー隊として隊レベルで何かできないかという企画がでるが、実践面においてなかなか実行できないのが現実である。しかし、個人レベルにおいては、ここ数年、レベル的には、まだまだ問題があるが各自、自分に与えられた任務及び責任感がでてきているようで、ローバーの一員としての立場を理解してもらっているように思う。　ただ残念なのは、私個人として、隊長という名ばかりで、実践的活動に参加できず、彼らにいい意味でのサジェションが与えられなかったのが、この一年を通して隊長として反省しております。　その分この一年、チームの下級者がよくみんなを引っぱってくれたのに感謝しております。又、分、このリーダー不足のおり、少しでもサンパチを盛り上げていくうえでも（個人研修の場としても）ローバー隊の一員からリーダーが育っていくのをこれからもバックアップしていきたいです。　それには、日々の活動において、まず参加するという事、この点、基本にもどって各個人の意識づけを第一条件に活動していき、小川先生のスカウト魂を引き継いでいきたいものです。

ローバー隊隊長
鶴田茂一

＊＊一年を振り返って＊＊

三指　又一年が過ぎました。この３月に小川先生が亡くなられると云う悲しい出来事があり、４団，３８団にとって過去を振り返ると同時に、将来を考える時であったと思います。

さて自分自身の活動に視点を移してみますと、なかなか踏み込んだ活動ができず、良くも悪くもスカウトに隊の運営そのものをまかせっきりであったようです。下阪チーフを中心に私の頼りなさを理解してもらい基本的に‘自分達で進めていくんだ’の姿勢でいてくれたことが、本音のところで非常に助かりました。

今年は、上記にも触れましたように団の大きい幹が突然なくなる事態になりましたが、後に続く者がしっかりと継続していくことが大事であると考えます。

来年には、３５周年を初め３８周年企画の足掛かりとなる年でもあります。企画、運営の中心となるローバー隊の役割も自ずと重要なものになります。実際、企画運営していくスカウトが少しでもスムーズに流れに乗れるようにアドバイスできればと思います。　　弥栄

最後に小川先生のご冥福を心からお祈りいたします。

平成５年１１月６日
副長　西村　浩行

野営行事委員会

八木　生次

平成５年

４月１７日（土）	北山地区　ＢＳラリー	
	施設資材トラック積込み	井上倉庫
４月１８日（日）	北山地区　ＢＳラリー	
	設営・撤営・記念写真撮影	静原キャンプ場
７月１１日（日）	ＢＳ隊　夏季キャンプ下見	湖南アルプス
７月１８日（日）	ＢＳ隊　夏キャン用竹伐り	西京区大枝
８月１１日（水）	ＢＳ隊　夏キャン用施設資材	ハウス長休
	トラック積込み・輸送	湖南アルプス
８月１５日（日）	ＢＳ隊　夏キャン　撤営・輸送	湖南アルプス
		ハウス長休

以上　ご報告致します

ご支援ご協力　有難うございました

組織拡張担当報告

1　平成５年度日本連盟登録申請

登録日　　平成５年２月２１日（日）　　於：今宮神社

	指導者	スカウト	合計
団委員	２３		２３
カブ隊	９	２２	３１
ボーイ隊	６	１７	２３
シニア隊	６	９	１５
ローバー隊	５	１６	２１
合　計	４９	６４	１１３
追加登録		３	３
総合計			１１６名

2　平成６年度入隊説明会

平成５年１０月２３日（土）　午後７時　　於：ハウス長休

参加者　　７名

以　上

報告者　　徳　岡

健康安全担当報告

1　保険加入について

加入保険	普通傷害保険および賠償責任保険
加入期間	平成４年１２月１９日～平成５年１２月１９日
加入人員	１１６名
取扱代理店	西陣・小川
保険申請	２件（傷害保険）

2　救急箱薬品補充について

カブ隊で若干の補充をおこなう

以　上

報告者　　板　谷　　徳　岡

指導者養成委員会の報告

平成4年度 第6回 指導者講習会
平成5年 3月20日～21日
於 石清水八幡宮「頓宮」
主任講師　石田幸史郎
受講者　河北孝平
丹羽雅義
今井喜明

ウッドバッヂ(W.B)研修所
ボーイスカウト課程 愛知第63期
平成5年 5月20日～23日
於 新城市吉川野営場
所長　守佐美一
受講者　今井喜明

国委員・指養担当
西脇香代子

進歩担当報告

年.月.日	進級章	氏名	場所
4.12.11.	2級面接	西村直久	長休寺応接間
5.1.25.		江本勝 末吉祐太	
5.3.11.		八木創平 月里達也	ハウス長休寺
5.3.30.		山田哲史	ハウス長休寺
5.3.11.	初級面接	北野誠人	ハウス長休寺
5.7.18.	1級面接	末吉祐太 江本勝 八木創平	ハウス長休寺
5.3.31. 5.7.15.	隼面接 (地区面接)	西脇淳人 伊藤良崇 出口浩平 八木立夫	今宮神社

技能章	徳岡	西脇	今井	伊藤	八木	出口	松野	入矢
救急			6/8			6/8	(H.4)	
カヌー	(H.4) 11/22	11/22		11/3 (H.4) 1/22	11/3 11/22	11/3	11/15	11/15
手話					(H.4) 11/20			
ものづくり		3/21			12/30			
森林愛護		3/21		6/30	6/30	6/30		
炊事		3/21			6/28	6/28		
環境衛生		3/26		7/3	7/3	7/3		
野営								

進歩担当
服部弘子
出口善子

財　政　担　当　報　告

育成会費及び年間行事費の納入は毎月５日に
京都銀行　出町支店にて自動引き落としになっております。
前日までに各自の残高をお確かめの上、ご入金頂きますよう
今後共ご協力お願い申し上げます。

育成会費及び年間行事費

	ＣＳ隊	ＢＳ隊	ＳＳ隊
育成会費(1ヶ月分)	1,500円	1,500円	1,500円
年間行事費(1ヶ月分)	2,000円	2,000円	1,500円
合　　計	3,500円	3,500円	3,000円

＊同一保護者で二名以上のスカウトが在籍する場合、
２人目以上は育成会費を５００円控除した金額を
納めて頂きます。

財　政　　吉　田　　容　子

団　財　政　明　細

平成５年９月３０日現在

摘　　要	金　　額	摘　　要	金　　額
普通預金	201,390	団積立準備金	2,200,000
定期預金	3,225,863	団備品購入引当金	300,000
郵便振替口座	209	緑化募金還付積立金	139,365
現　　金	55,501	道標修理費預り金	51,539
		繰越金	792,059
計	3,482,963	計	3,482,963

積　立　金　等　明　細

平成５年９月３０日現在

摘　　要	前年度繰越金	本年度積立	本年度　支出	次年度繰越金
団積立準備金	2,200,000	0	0	2,200,000
団備品購入引当金	410,000	0	110,000	300,000
緑化募金還付積立金	134,240	5,125	0	139,365
道標修理費預り金	49,880	1,659	0	51,539
計	2,794,120	6,784	110,000	2,690,904

上記の通り報告致します。

団　会　計　　丹　羽　　武

平成５年度　第３８団育成会会計報告

自　平成４年１０月１日～至　平成５年９月３０日

（単位：円）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
団積立準備金	2,220,000	登録費	379,100
団備品購入引当金	410,000	保険料	81,200
緑化募金還付積立金	134,240	ハウス管理費	199,800
道標修理費預り金	49,880	団行事費	150,392
入団諸費	18,000	団備品費	350,582
育成会費	766,000	研修補助費	27,000
各隊年間行事費	1,130,000	活動援助費	387,014
内（ＣＳ隊）	(576,000)	各隊年間行事費	949,288
（ＢＳ隊）	(374,000)	（ＣＳ隊）	(586,230)
訳（ＳＳ隊）	(180,000)	内（ＢＳ隊）	(319,058)
維持会費	432,000	訳（ＳＳ隊）	(24,000)
賛助会費	10,000	（ＲＳ隊）	(20,000)
預金利息	89,276	慶弔費	50,000
雑収入	26,000	交際費	30,539
		印刷費	64,688
		会議費	23,400
		団事務費	38,995
		団積立準備金	2,220,000
		団備品購入引当金	300,000
		緑化募金還付積立金	139,365
		道標修理費預り金	51,539
前年度繰越金	949,565	次年度繰越金	792,059
計	6,214,961	計	6,214,961

上記の通り相違ないことを報告致します。

平成５年１０月２０日
団会計　丹羽　武

平成５年度の会計を監査した結果、帳簿，証拠書類共に
相違ないことを確認しました。

監査人　園田隆三

監査人　西山豊太郎

平成６年度　第３８団育成会　会計予算書（案）

自平成５年１０月１日～至平成６年９月３０日

（単位：円）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
入団諸費	12,000	登録費	390,000
		保険料	90,000
育成会費	780,000	ハウス管理費	220,000
		団行事費	150,000
各隊年間行事費	1,150,000	団備品費	160,000
内（CS隊20名）	(480,000)	研修補助費	50,000
（BS隊20名）	(480,000)	活動援助費	400,000
訳（SS隊11名）	(190,000)	各隊年間行事費	1,210,000
		（ＣＳ隊）	(480,000)
維持会費	300,000	内（ＢＳ隊）	(480,000)
		訳（ＳＳ隊）	(190,000)
		（ＲＳ隊）	(60,000)
		慶弔費	30,000
		交際費	50,000
		会議費	40,000
		印刷費	70,000
		団事務費	40,000
前年度繰越金	792,059	予備費	134,059
計	3,034,059	計	3,034,059

＊予算の各項目間の流用を認める。

尚、団事務費の中に銀行口座引落手数料が含まれています。

団会計　丹羽　武

平成6年度各隊指導者構成（案）

	隊長	副長
カブスカウト隊	西脇孝典	岡本健司 山本茂 南忠治郎 山下望
ボーイスカウト隊	今井喜明	入矢徹雄 河合豊
シニアスカウト隊	末吉央伯	角井輝信 遠藤亘
ローバースカウト隊	鶴田茂一 チーフスカウト	西村浩行 河北孝平

平成6年度団委員会構成（案）

団顧問（協議会）	中川恵造	
育成会長	西村泰一	
団委員長	下坂紀一	
副団委員長	八木生次	
団会計	丹羽武	
団委員（財政CS担当）	~~山田祐子~~	岡本佳子
団委員（財政BS担当）	丹羽武	
団委員（野営行事CS担当）	吉沢純	津田加奈栄、山田祐子
団委員（野営行事BS担当）	西口康代	
団委員（野営行事SS担当）	江本律子	
団委員（野営行事RS担当）	今井信也	
団委員（組織拡張担当）	徳岡宏武	
団委員（組織拡張担当）	西野恭子	
団委員（進歩担当）	出口善子	
団委員（進歩担当）	服部弘子	
団委員（指導者養成担当）	西脇香代子	
団委員（指導者養成担当）		
団委員（健康安全担当）	板谷洋子	
団委員（健康安全担当）		
団委員（地区CS委員）	~~岡本佳子~~	津田、加奈栄
団委員（地区BS委員）	西口康代	
団委員（地区委員進歩担当）	五十嵐達志	
団委員（地区委員　担当）	八木生次	
会計監査	園田隆三	西山豊太郎